

2015年12月22日

台湾の高純度アンモニア製造拠点を増強

－東アジア・ASEANでの販売を強化－

昭和電工株式会社（社長：市川 秀夫）は、電子材料の製造工程で使用される高純度アンモニアの供給能力を拡大し、台湾にある製造子会社の設備を年産能力 2,500 トンから 3,500 トンに引き上げました。当社は日本・台湾・中国に高純度アンモニアの製造拠点を有しますが、今回の増強により、3 拠点合計での生産能力は 7,000 トンになりました*。

高純度アンモニアは、化合物半導体（LED）や液晶パネルなどの製造工程において窒化膜形成用ガスとして使用される特殊ガスです。当社は台湾において 2005 年から高純度アンモニアを製造・販売していますが、当該地域における LED・液晶パネル市場の伸びに加え、当社の効率的な生産体制と高い精製・分析・品質管理技術を評価いただき、順調に販売を拡大してきました。高純度アンモニアは今後、ASEAN 地域においても需要の拡大が見込まれます。当社はグローバル SCM の実現により、これらの事業機会を確実に捉えていきます。

電子材料は東アジアを中心に市場が成長してきましたが、今後も半導体の微細化・多層化や液晶の高精細化などの進展により、ガスの使用量は増加傾向が予想されます。当社は来年 1 月から始動する中期経営計画“Project 2020+”において、電子材料用高純度ガス事業を成長加速事業に位置付け、拡大する世界の電子部品市場に迅速に対応し、同事業の強化・拡大を図ります。

以上

*当社の高純度アンモニア製造拠点と 2015 年 12 月 22 日現在の年産能力

（1）日本：昭和電工株式会社川崎事業所（川崎市）	1,500 トン
（2）台湾：台湾昭和化学品製造股份有限公司（台南市）	3,500 トン
（3）中国：浙江衢州巨化昭和電子化学材料有限公司（浙江省衢州市）	2,000 トン

◆本件に関するお問い合わせ先 広報室 03-5470-3235

